

2023年度 第2回理事会の概要

第2回理事会は、2023年9月24日(日)13:30から、東洋大学白山キャンパス6号館1階第3会議室(Zoom併用)で開催されました。出席者は、山崎健会長、熊澤健一、熊田俊郎、西野淑美、松本行真、土居洋平(以上対面出席)、増田聡、松村茂、磯部友彦、井澤知旦、久隆浩、佐藤彰男、田中晃代、平篤志、川瀬正樹、石川雄一、山下宗利、森 傑、平井太郎、大塚俊幸、有馬隆文(以上Zoom出席)の各理事でした。

議事の概要は次の通りです。

■議題1. 2022年度事業報告、決算

決算の確定値について報告がありました。総会前の理事会で監査報告を受けて、決算承認の審議を行うこととしました。

■議題2. 学会賞の選考

学会賞事務局より、学術共同賞、まちづくり賞等の推薦はなく、奥井記念賞および論文賞の選考が行われたと報告がありました。次いで日本都市学会賞(奥井記念賞)選考委員会より、後藤範章『鉄道交通と巨大都市の社会学―「東京」の構造変動』(日本評論社、2022年)を奥井記念賞候補とする選考委員会案が報告され、原案通り、同書を2023年度日本都市学会賞(奥井記念賞)とすることに決定しました。

続いて日本都市学会論文賞選考委員会より、

大伏玄泰・森傑・野村理恵「移動販売の利用拠点づくりの試行錯誤からみた地域生活の課題分析―北海道の過疎地域における事業展開に着目して―」(『日本都市学会年報』54号)

の第一著者である大伏玄泰氏に論文賞を授与するという選考委員会案が報告され、原案通り、日本都市学会論文賞を授与することに決定しました。

■議題3. 年報事務局報告

後日、年報事務局から年報編集・制作の現状について報告がありました。

■議題4. 論文審査事務局報告

論文審査事務局報告より、本年11月30日の投稿締切り以後の審査スケジュール、論文審査事務の作業負担の多さに対応するため事務委託費を計上して欲しいこと、新年度に2024-25年度の論文審査委員の改選時期になる、との報告がありました。

■議題5. 第70回大会について

関東都市学会より、大会の準備状況と検討課題について報告がありました。

■議題 6. 第 71 回大会について

東北都市学会より、第 71 回大会について、前回報告の通り 2024 年 10 月 25, 26, 27 日の 3 日間、石巻市の魚市場で開催するという内容で、現在詳細を詰めている。テーマは未定であるが、「災害と文明」といった内容を考えているとの報告がありました。

■議題 7. その他

(1)山崎会長より、学会活性化のための委員会を設けたいとの発言がありました。メンバーの案が示され、これについて意見が交わされました。委員会を発足させることを了承し、内容を今後検討することにしました。

(2)年報刊行について意見が交わされました。近畿都市学会内から、担当者をチームとして支える仕組みを考えているとの発言がありました。また奥付の発行日を再検討すべきとの意見もありました。